エネルギー政策転換に向けた議員セミナー【第2回】

原発依存社会がもたらしたもの

【日時】 2011年5月19日（木）15:00～18:00

【場所】 衆議院第一議員会館　多目的ホール

（東京都千代田区永田町1-7-1　最寄駅：国会議事堂前、または永田町）

【講師】（予定、敬称略）

上杉隆（ジャーナリスト）

佐藤和良（いわき市議会議員）

飯館村村民（調整中）

【内容】（すべて予定・仮題）

原発依存・電力多消費社会をつくりだした人々

原発は、地域社会をどう変えたか？

《ワンポイント報告》怒れる親たちの声をきけ～子ども20ミリシーベルト

飯館村が今、直面していること（調整中）

福島第一原子力発電所の事故は、日本のエネルギー政策の根本を揺るがすものとなりました。いままで原発に依存してきたエネルギー計画や温暖化対策の抜本的見直しが必要となってきています。

本セミナーは、エネルギー政策の転換がなぜ必要なのか、どのように達成するのかを議論するシリーズの第２弾です。今回は、原発・電力多消費社会の構造的な問題に切り込むとともに、あらためて福島原発事故の根本的な問題を見つめます。

【定　員】　250名
【資料代】　1,000円
【主　催】　環境エネルギー政策研究所（ISEP）、原子力資料情報室、
国際環境NGO FoE Japan、グリーン・アクション、グリーンピース・ジャパン、
「環境・持続社会」研究センター（JACSES）、原水爆禁止日本国民会議
【協　力】　環境市民、気候ネットワーク、市民がつくる政策調査会、
地球・人間環境フォーラム、メコン・ウォッチ
【要申込】　下記のウェブサイトから、またはE-mailでお申込み下さい。
http://www.foejapan.org/infomation/news/evt_110519.html

【問い合わせ】国際環境NGO FoE Japan 渡辺
Tel: 03-6907-7217 Email: finance@foejapan.org

※議員会館の外からお越しの参加者には、14:30から15:15まで、衆議院第1議員会館の入口で入館証を配布します。大幅に遅れる場合は、あらかじめご連絡ください。